

1: 出席者

加藤^a・大西^b・岡部・千葉・能登・片山・平林・内藤^c・新井^c・合川^c・セルゲイ^c・吉田^c・須田^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 9月6日に東工大にて特別会計の全体会議があった。(加藤)
- 9月10日に総合核データ利用システムの検討会議があり、今後の計画などを議論した。(加藤)
- 9月26日からND2004に大塚氏が参加し、ポスター発表を行なう予定である。(加藤)
- 10月4~6日にNDセンター会議があり、大西氏が参加する予定である。(加藤)
- 合川・新井両氏が10月からブリュッセル自由大学に赴任する。(加藤)
- COEのメンバーに簗口氏が加わった。(加藤)
- NRDF年次報告書が出版された。(能登)
- NRDFでの数値テーブル欠損および重複のチェックが終了し、問題のあるファイルは1890件のデータのうち100件以上であった。(セルゲイ)
- SPES-Jの改良が進み、JENDL検索システムとして公開版に近づいた。(内藤)
- 新設したサーバーがダウンしたが、再設定した。(合川)
- ENIASを作成した。(合川)
- RGMのシステムをJCPRGのホームページで公開した。(新井)
- SPESを改良し、EXFOR検索システムとしてほぼ完成した。(須田)
- NEA-DBのMark Kellett氏の後任としてHans Henriksson氏(スウェーデン)が8月半ばに着任した。氏はCINDA関係で今後JCPRGと関係を持つことになる。(大塚)
- データベース科研費の応募者説明会が10月14日16:00から東京で行なわれる。(大塚)
- EXFOR System Manualが更新され、ウェブに掲載された。(大塚)
- LEXFORのdraftが届いた。(大塚)

3: 議論

- 核データの活動の物理学会誌への寄稿について
 - 寄稿に関しては決定とする。
 - SPES、SPES-Jの公開に関して井頭氏に相談する。(加藤)
 - DARPEは全面公開する。
- 開発ツールのntjでの公開について
 - 複数のユーザーからのアクセスに対応できるかどうかを確認したうえで公開する。
- JCPRGでIAEAの作業に関わる年間の従事者数について
 - 1.5人とする。
- EXFORの高エネルギーファイルに対するエントリー番号の割り当てについて

- 入射粒子が $A \geq 1$ であれば従来通り E シリーズにコンパイル、反陽子・中間子入射に関しては新しい ID(例えば J)にコンパイルすることが提案されている。
 - ✧ ファイルをコンパイルして残しておくことが重要である。
- SPES-J、RGM、ENIAS のデモンストレーションが行なわれた。

4: 次回

2004 年 10 月 18 日 18:30~